

# 抑制トマトにおける有望品種の検討

1 目的 大玉トマトの抑制栽培において、品質・収量性に優れた品種を選定する。

## 2 実証内容

### 1) 供試品種

供試品種名		主な耐病性					
		黄化葉巻	トマト モザイク ウイルス	青枯	根腐萎凋	葉かび	斑点
大安吉日	(ナント種苗)	イスラエル ・マイルド	Tm-2 <sup>a</sup>	—	—	Cf-9	○
アニモTY-10	(武蔵野種苗)	イスラエル ・マイルド	Tm-2 <sup>a</sup>	—	○	Cf-9	○
アニモTY-12	(武蔵野種苗)	イスラエル ・マイルド	Tm-2 <sup>a</sup>	—	○	Cf-9	○
桃太郎グランデ	(タキイ種苗)	—	Tm-2 <sup>a</sup>	△	○	Cf-9	○
みそら64	(みかど協和)	—	Tm-2 <sup>a</sup>	—	—	Cf-9	—
桃太郎ファイト(標準)	(タキイ種苗)	—	Tm-2 <sup>a</sup>	△	—	Cf-4	○

※耐病性：○強 △中程度

(台木品種) ‘がんばる根’ (愛三種苗)

### 2) 耕種概要

(1) 使用施設：H鋼ガラスハウス 間口 12m×37.5m

(2) 播種日 穂木 6月18日 台木 6月16日

(3) 接木日 7月8日

(4) 定植日 7月29日

(5) 施肥量

#### 【基肥】

肥料名	施肥量 (kg/10a)
堆肥	2,000
セルカ	120
有機重焼燐	40
油かす	60
有機アグレット744	60

成分量(kg/10a) N : 7.4 P : 10.2 K : 7.3

#### 【追肥】

肥料名	施肥量 (kg/10a)
トミー液肥ブラック	3kg × 4回

成分量(kg/10a) N : 1.2 P : 0.5 K : 0.7

(6) 栽植密度 約 1,700 株/10a

(7) ホルモン処理 (トマトトーン)

8月2日～9月30日

(8) 収穫調査期間

9月15日～12月10日

### 3 結果の概要

- 1) 本年は、黄化葉巻病は発生せず、葉かび病、灰色かび病の発生も少なかった。
- 2) 猛暑の影響で各品種とも着果数は少なかったが、その中では‘アニモ TY-10’ ‘桃太郎グランデ’ が良かった。
- 3) 着色は、‘みそら 64’ が遅く、‘アニモ TY-10’ ‘アニモ TY-12’ は色付きが悪かった。
- 4) 収穫始めは‘アニモ TY-10’ ‘アニモ TY-12’ が早く、‘みそら 64’ が遅かった。
- 5) 1果重については、‘みそら 64’ が高かった。
- 6) 収量については、黄化葉巻病耐病性品種の中では、‘アニモ TY-10’ が高く、葉カビ病耐病性品種のなかでは、‘桃太郎グランデ’ が高かった。

以上のことから、‘桃太郎グランデ’ ‘みそら 64’ が収量面では有望と考えられる。

### 4 具体的数字等

表 1 収穫調査結果

品 種	総収量 (kg/10a)	可販収量 (kg/10a)	可販率 (%)	平均果重 (g)	1 株個数	糖度※ (brix %)	裂果率 (%)
大安吉日	3,569	3,130	87.7	138.8	15.4	6.1	30.7
TY-10	3,566	3,362	94.3	117.1	18.3	5.7	4.7
TY-12	4,244	4,041	95.2	118.9	21.4	5.9	6.0
桃太郎グランデ	5,063	4,517	89.2	134.6	22.6	6.1	6.7
みそら 64	4,749	4,339	91.4	162.2	17.6	6.1	4.8
桃太郎ファイト(標準)	4,346	3,979	91.5	119.3	21.9	6.0	12.9

※屈折糖度計にて調査